

出張講演レポート

場 所 : 根岸病院(東京都府中市)

聴講者 : 約 60 名

講演者 : 巣立ち会メンバー10 名

車 2 台でそれぞれに現地に向かいました。車内では「うまく話せるかなあ」と不安の声もありましたが、「でも、自分の体験談を話せばいいんだから」と、経験者からのアドバイスもあって、和やかな雰囲気です。

病院には昼前に到着しました。まず、作業療法室で昼食のカレーライスのサービスがありました。皆「おいしい」と笑顔です。その後しばらくのんびりと過ごしますが、全体としては会話も少なく、どことなく緊張した雰囲気でした。

その後、いよいよ病棟へ移動しました。すると、広い会場に人がぎっしりと居て、皆も驚きの表情です。今回の講演は「地域交流会」との位置づけで、退院対象の方々だけでなく、大勢の人に参加を呼びかけたとのことでした。

職員のあいさつのあとに、こひつじ舎・白樺荘のビデオを見てもらい、だいたいの普段の様子を見てもらった後、いよいよメインの「メンバー全員からのメッセージ」となりました。メンバーの皆さんは、会が始まってからのほうがむしろ落ち着いているようです。



出番を待つメンバー



講演会場は満杯！

メモを見ながら話す人が半分ほど。そうでない人も、照れながらも淡々と話をしています。聞くほうとしても、話し手の人数が多かったことで、バラエティーに富んでいて飽きずに聞けていた様子でした。



真剣な表情で語っています

「作業所へ行くことで再発せずにすんでいる」「皆さんが安心して生活できるように、力を貸したい」「自由がたくさんある。退院してよいことだらけ」と、メッセージには説得力がありました。



みんなの質問にも答えました

最後に、質疑応答という形で皆さんからの質問があり、その度にメンバーが進んで手を上げてしっかり答えていました。途中、メンバーのひとりが質問の「家財」を「火災」を聞き間違えて答えて、会場が大笑いし、ほぐれた雰囲気になりました。以上で会は終了となり、皆、ほっとしたなかで充実感を漂わせて笑顔で退出しました。

なお、その後会場を作業療法室に変えて、病院職員からひとことずつ感想を伺いました。地域の精神障害者の話を聞くのは初めてという職員が多く、参考になったとのことでした。

(巢立ち風 長門)



お茶会で楽しく話しました

その後、小グループにわかれてのお茶会となりました。患者さんの人数が多かったため、各テーブルに1~2名のメンバーが入り、話をしました。先方の職員もうまく話を引き出してくれていて、なかなかの盛り上がりでした。